

地域包括ケア推進事業

私たちの暮らす地域には、日常のお付き合いの中で、支え合いや助け合いがたくさん行われています。

地域の宝である諫早にある取組についてその意味や価値を共有したいと思います。

行政報告 「諫早市における介護予防と生活支援の語らん場（かたらんば）の取組」

講演 「地域を活かした支え合い」

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部社会福祉学科学科長

地域総合研究所所長

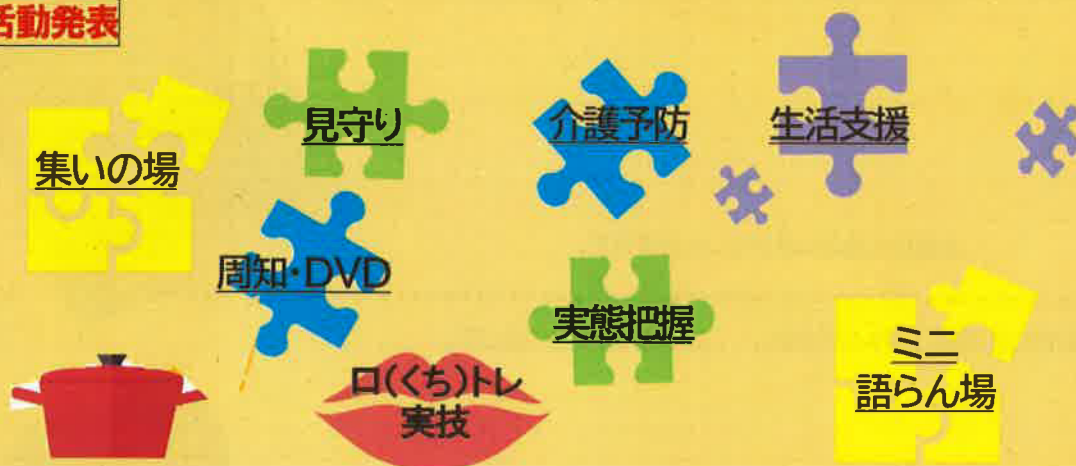
岩永秀徳さん

講演 「生き・生き・元気な地域づくりのための3つのポイント」

ご近所福祉クリエイター

酒井保さん

活動発表



★手ばかり栄養3行レシピあったか試食でホッとひといき★

パネルディスカッション

「これからの介護予防と生活支援の語らん場（かたらんば）」

長崎ウエスレヤン大学 岩永秀徳さん ご近所福祉クリエイター 酒井保さん

諫早市自治会連合会会長 古賀文朗さん



日時：令和2年 3月23日（月）

13:30～16:30



酒井保氏 画

会場：諫早文化会館中ホール

駐車場の台数が限られていますので、公共交通機関のご利用についてご協力をお願いします。

■主催 諫早市 申し込み・問い合わせ 諫早市高齢介護課 ☎ 22-1500 (代)

介護予防と生活支援の

地域づくりプラットフォーム

<FAX送信票 22-0431 諫早市高齢介護課宛て>

令和元年度介護予防と生活支援の地域づくりフォーラム参加申込書

団体申込の場合 所属名(団体名)

参加者

氏名	住所	電話番号

質問を受け付けます。

※進行の参考にさせていただきます。



令和2年3月16日(月)までにお申し込みください。 ※当日参加も可能です。

講師プロフィール

○酒井 保 (さかい たもつ) 氏

1961年 広島生まれ。知的障がい者施設職員、社会福祉協議会福祉活動専門員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設(主宰)。パワーポイントやフリップを用いての漫談的なプレゼンテーションが高齢者層に好評。地域へ出て行くことに、コダワリ、住民主体の本質を追究しながら、住民の「暮らしぶり」に見えるホンモノの支え合いの大切さを説くことを主な生業としている。イラストレーターとしても活動中。主な著書;「見守り活動」から「見守られ活動」へ ~住民歴書とエゴマップのすすめ~ [CLC 発行]、元気を生み出す!ご当地サロン/新しい総合事業大見本市 [CLC 発行]、生活支援コーディネーターと協議体(マンガ・イラスト) [CLC 発行]、月刊ケアマネジメント/連載「地域から始める包括ケア」[環境新聞社発行・2018年2月号~2019年4月号] 他



○岩永 秀徳 (いわたがひでのり) 氏

長崎県社協・長崎市で地域福祉・ボランティアの育成を経て2016年から長崎ウエスレヤン大学社会福祉学科教授地域連携推進センター長を経て現在、社会福祉学科長・地域総合研究所長。「行政サービスなどの公助と市民自身が解決する自助には限界があり、2つの間に助け合いという市民の共助・協働が必要。」と、県下の講演や諫早市地区社協での講演経験も多い。

